

よくわかる！

病害虫防除
マニュアル
ピーマン編

そーだ、
にほんそーだに
そーだんしよう！



日本曹達株式会社

適期の薬剤散布がポイント! ピーマン作りに、日曹の製品がお役に立ちます。

[] RACコード
ハウスで使用する
くん煙剤

土壌病害・センチュウには…

キルパー
使用時期／は種または定植の15日前まで
(古株枯死以下は前作の栽培終了後から残渣撤去まで使えます)
使用回数／1回




適用病害虫名など	使用量	使用方法
ネコブセンチュウ	40~60ℓ/10a	※C
一年生雑草	60ℓ/10a	※A
苗立枯病(リゾクトニア菌)		※A・B
萎凋病		※C
半身萎凋病		※B・D
古株枯死	40~60ℓ/10a	※B
ネコブセンチュウ蔓延防止	60ℓ/10a	※D
アザミウマ類蔓延防止	40~60ℓ/10a	※D
	60ℓ/10a	※D

- ※A 散布混和: 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
- ※B 希釈散布/灌水: あらかじめ被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
- ※C 注入: 所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し、直ちに被覆または覆土・鎮圧する。
- ※D 所定量の薬液を水で希釈し、土壌表面に散布または灌水する。

定植期の害虫には…

モスピラン 粒剤 (4A)

適用害虫名	使用量	使用時期/使用回数	使用方法
アブラムシ類	0.5g/株	定植時/1回	種穴土壌混和
アブラムシ類		定植前日~定植当日/1回	株元散布
コナジラミ類			



アベイル 粒剤 (4A, 28)

適用害虫名	使用量	使用時期/使用回数	使用方法
コナジラミ類	2g/株	育苗期後半~定植当日/1回	株元散布
アブラムシ類			
アザミウマ類			
コガネシジミ類幼虫			



ベリマークSC (28)

適用害虫名	使用液量		使用時期/使用回数	使用方法
	薬量	希釈水量		
アブラムシ類	400株当り	400株当り10~20ℓ(1株当り25~50ml)	育苗期後半~定植当日/1回	灌注
アザミウマ類	400株当り	400株当り10ℓ(1株当り25ml)		
コガネシジミ類	25ml			



生育期の病害には…

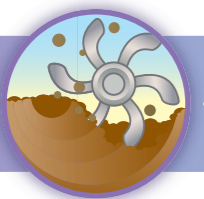
「ピーマン」に使える薬剤

適用病害名	製品名	希釈倍数または使用量	使用時期/使用回数	備考
灰色かび病	ミギワ10フロアブル(52)	1000倍	前日/3回	—
	カンタスドライフロアブル(7)	1000~1500倍	前日/3回	—
	ハーモメイト水溶剤(NC)	800倍	前日/—	野菜類登録
黒枯病	トップジンM水和剤(1)	4000~6000倍	前日/3回	—
	カンタスドライフロアブル(7)	1000~1500倍	前日/3回	—
	ストロビーフロアブル(11)	3000倍	前日/3回	うどんこ病
うどんこ病	ミギワ10フロアブル(52)	1000倍	前日/3回	—
	パンチョTF顆粒水和剤(U6, 3)	2000倍	前日/2回	—
	トリフミン水和剤(3)	3000~5000倍	前日/5回	—
	フルピカフロアブル(9)	2000倍	前日/4回	—
	トリフミンジェット(3)	50g/400m ³	前日/5回	—
疫病	ピシロックフロアブル(U17)	1000倍	前日/3回	—

「ししとう」に使える薬剤

適用病害名	製品名	希釈倍数または使用量	使用時期/使用回数	備考
灰色かび病	カンタスドライフロアブル(7)	1000~1500倍	前日/2回	とうがらし類登録
黒枯病	トップジンM水和剤(1)	10000倍	前日/3回	—
	カンタスドライフロアブル(7)	1000~1500倍	前日/2回	とうがらし類登録
	ストロビーフロアブル(11)	4000倍	前日/2回	—
うどんこ病	トリフミン水和剤(3)	4000~5000倍	前日/5回	とうがらし類登録
	ストロビーフロアブル(11)	4000倍	前日/2回	とうがらし類登録
	トリフミンジェット(3)	50g/400m ³	前日/5回	—

土壌消毒



定植期



生育期(本圃での散布)



収穫期



TOPIC 1

■農業資材等の消毒には…
ケミクロンG
500倍での使用が効果的です。



TOPIC 2

■黒枯病の防除にオススメ!
トップジンM 水和剤 (1)
希釈倍数/4000~6000倍
使用時期/前日
使用回数/3回
※裏面の病害虫図鑑をご参照ください。



ワンポイントアドバイス

※農業登録における適用作物名(2019年7月1日適用分)より

■「ピーマン」の登録では「ししとう」や「とうがらし」には使えません。詳しくは下表をご参照ください。

大作物群	中作物群	小作物群	作物名	作物名に含まれる別名、地方名、品種等の例	備考(収穫部位)
野菜類	なす科果菜類	ピーマン及びとうがらし類	甘長とうがらし	伏見とうがらし、万願寺とうがらし、三宝とうがらし、ひもとうがらし	果実を収穫するもの。未成熟の状態でも利用する甘味種。
			かぐらなんばん	—	—
			きだちとうがらし	—	果実を収穫するもの。
			ししとう	ししとうがらし、獅子唐、葵ししとう	—
			とうがらし	鷹の爪、八房、日光とうがらし、札幌大長とうがらし	果実を収穫するもの。未成熟の状態でも、あるいは完全させて利用する辛味種。
			ハバネロ	—	—
			ピーマン	大獅子、カリフォルニアワンダー、カラーピーマン、オランダパブリカ	果実を収穫するもの。
ピカンテ	—	—			

注意:「ししとう」のみの登録では、ピーマン及びとうがらし類に属する他の作物には使用できません。

生育期の害虫には…

「ピーマン」に使える薬剤

適用害虫名	製品名	希釈倍数または使用量	使用時期/使用回数	備考
アザミウマ類	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/2回	—
	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	4000倍	前日/2回	—
ハダニ類	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/2回	—
	ダニオーテフロアブル(33)	2000倍	前日/2回	—
	ニッソラン水和剤(10A)	2000~3000倍	前日/2回	—
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	4000倍	前日/2回	—
	モスピランジェット(4A)	50g/400m ³	前日/2回	—
コナジラミ類	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	4000倍	前日/2回	—
オオタバコガ	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/2回	—
	フェニックス顆粒水和剤(28)	2000~4000倍	前日/2回	—

「ししとう」に使える薬剤

適用害虫名	製品名	希釈倍数または使用量	使用時期/使用回数	備考
ミナミキイロアザミウマ	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/2回	とうがらし類登録
ミカンキイロアザミウマ	コテツフロアブル(13)	4000倍	前日/2回	—
ハダニ類	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/2回	とうがらし類登録
	ニッソラン水和剤(10A)	3000倍	前日/2回	—
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	8000倍	前日/2回	とうがらし類登録
オオタバコガ	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/2回	とうがらし類登録
	フェニックス顆粒水和剤(28)	2000~4000倍	前日/2回	とうがらし類登録

モスピラン 顆粒水溶剤

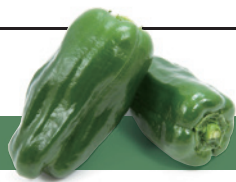
日曹 **コテツ** フロアブル

ニッソラン 水和剤

日曹 **フェニックス** 顆粒水和剤

モスピラン ジェット

日曹 **ダニオーテ** フロアブル



ピーマン病害虫図鑑

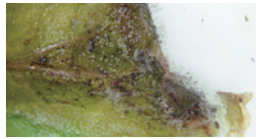
病害

【灰色かび病(苗発病) *Botrytis cinerea*】

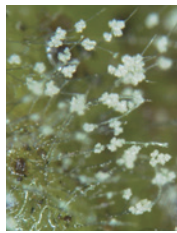
圃場に残った発病葉・発病果上の病原菌や、地表面に菌核として残った病原菌が伝染源となる。次期作では、そこから胞子が飛散して伝染する。



発病葉



加湿すると菌糸と分生子を生じる



白い分生子

適用薬剤 ミギワ10フロアブル、カンタストライフフロアブル など

【うどんこ病 *Leveillula taurica*】

葉の裏面に葉脈で区切られて、薄く霜状のかびを生じる。葉裏には淡黄色に退色した部分がある。葉が黄化して落葉が著しい。25℃前後を好み、空気湿度が乾燥した場合に発生が著しい。



発病株*



病斑上の胞子*



葉の病斑*

適用薬剤 フルピカフロアブル、バンチョTF顆粒水和剤 など

*提供:日本植物防疫協会(撮影:梶原敏宏氏)

【黒枯病 *Corynespora cassiicola*】

主に葉で発生し、初め褐色小斑点を形成し、次第に黒褐色輪紋状の病斑となる(斑点病の病斑は円形、黒枯病の病斑は不定型になりやすい)。果実や果梗には、黒褐色の斑点を生じる。多湿条件で発生しやすい。



葉の病徴**



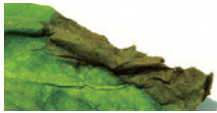
果実の病徴**

適用薬剤 トップジンM水和剤 など

**提供:高知県・こうち農業ネット

【疫病 *Phytophthora capsici*】

地際に発生しやすく、茎、葉、果実に暗褐色の窪んだ病斑を生じる。多湿条件下では病斑の表面に霜状のかびを生じる。梅雨後半から9月にかけて降雨が多いと多発する。



葉の病徴



果実の病徴

適用薬剤 ビシロックフロアブル

【モザイク病 AMV, PMMoV, PaMMV, CMV など】

アブラムシ類がウイルスを媒介したり、管理作業中にはさみを介し伝染する。ウイルスの種類により症状が異なるが、葉のモザイク症状や果実の奇形、株全体の生育不良などが生じる。



葉の奇形



葉の黄化



果実の奇形

害虫

【ミナミキイロアザミウマ *Thrips palmi*】

葉や果実からの吸汁により、生育が抑制。果実への寄生による品質低下を招き、えそモザイク病を媒介する。



雌成虫
(体長1.2mm)



被害果

被害葉裏

適用薬剤 ベリマークSC、モスピラン顆粒水溶剤 など

【モモアカアブラムシ *Myzus persicae*】

成虫および幼虫による吸汁害。ウイルス病を媒介する。



コロニー



成虫(体長2mm)及び幼虫(体長0.8mm)

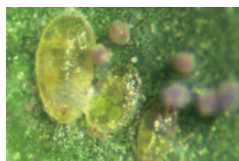


蕾の被害

適用薬剤 アベイル粒剤、モスピラン顆粒水溶剤 など

【タバココナジラミ *Bemisia tabaci*】

幼虫および成虫により、果実及び葉を加害する。



1齢幼虫(体長0.3mm)と
3齢幼虫(体長0.5mm)



成虫(全長1.2mm)



排せつ物によるすす病

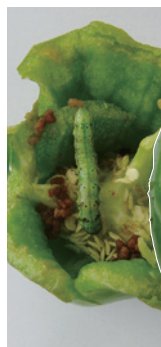
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【オオタバコガ *Helicoverpa armigera*】

幼虫により、果実や葉が食害される。



中齢幼虫
(体長12mm)



老齢幼虫
(体長30mm)

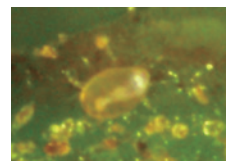


幼虫による
被害果

適用薬剤 フェニックス顆粒水和剤 など

【チャノホコリダニ *Polyphagotarsonemus latus*】

加害によりさび果の発生、葉の奇形、芯止まりとなる。



成虫(体長0.2mm)



寄生果



芯止まりとなる

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号

お問合せ(03) 3245-6178

(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



HPIはこちらから